

経営比較分析表（令和4年度決算）

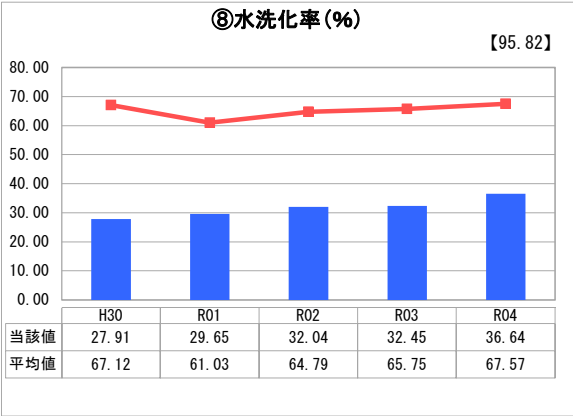
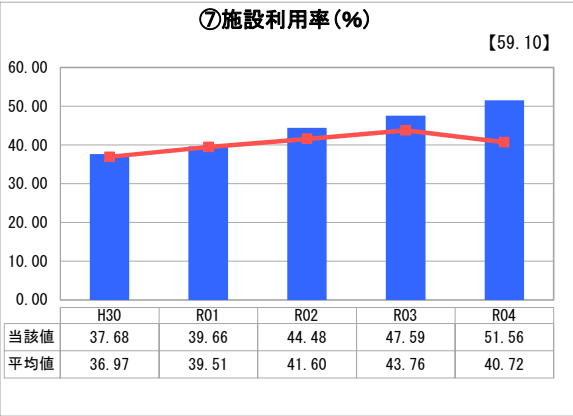
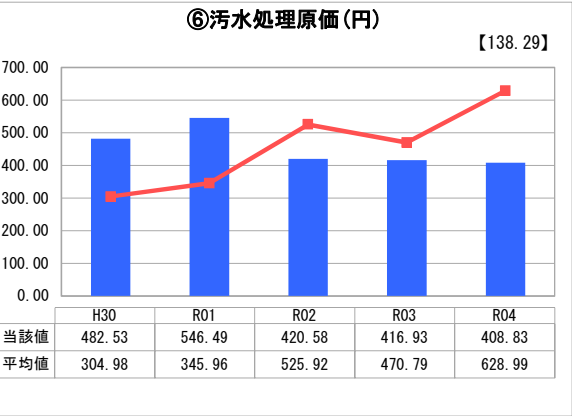
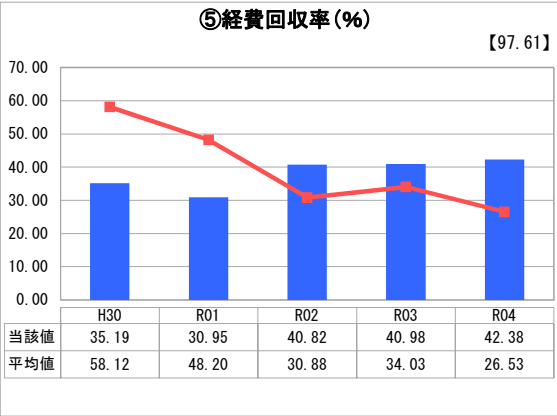
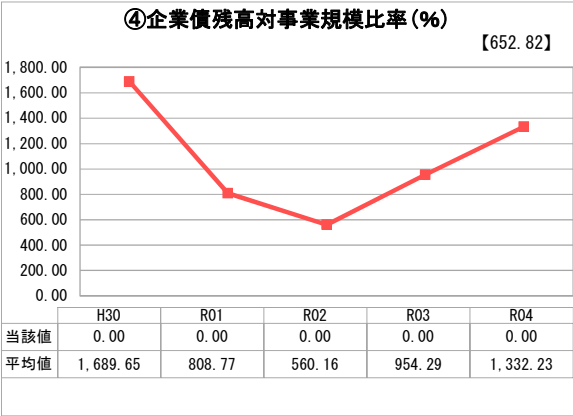
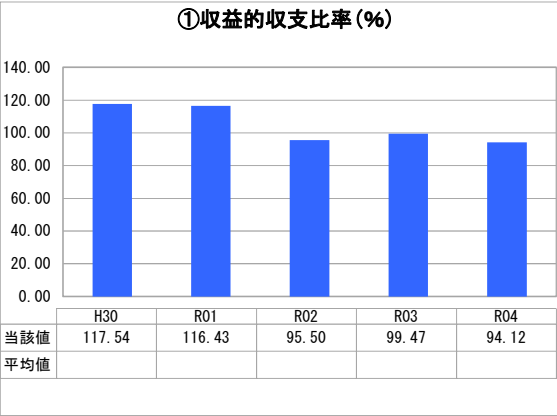
青森県 南部町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.38	102.91	3,170

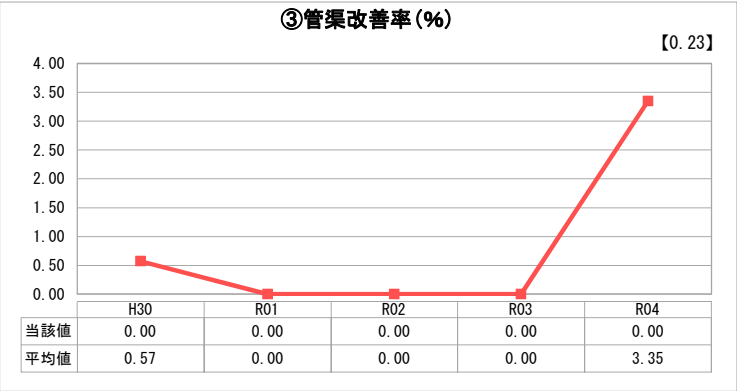
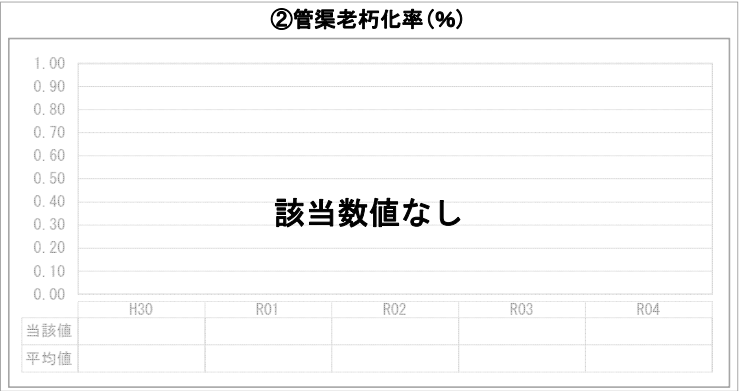
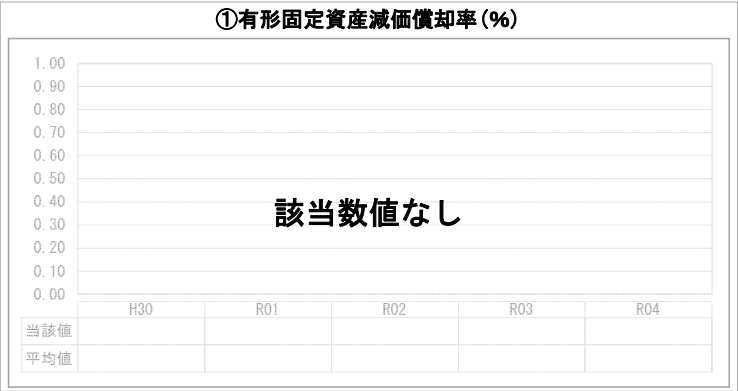
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,965	153.12	110.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,039	1.31	1,556.49

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

一部供用開始から12年ほどであり建設事業継続中であることにより、地方債及び他会計繰入金の依存度が高い。

収益的収支比率については、下水道使用料の増加に伴い営業収益が増加したため、令和3年度は増加した。地方債償還金が増加しているため、令和4年度では減少した。今後も償還金の増加による増加がさらに予想される。

経費回収率については、下水道使用料の増加と処理場修繕料の減少により令和3年度、4年度は増加したが、今後は設備の老朽化に伴い修繕料の増加による減少が予想される。

また、水洗化率については、高齢者世帯が多いことによる経済的理由等により、下水道の新規加入者が少なく平均値から大きくかけ離れている。

今後は、更なる下水道加入促進、適正な維持管理運営による汚水処理原価の適減、経費回収率及び施設利用率の向上を目標に長期的に収支の均衡を図っていくことが求められる。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、現在低い水準である。耐用年数を超える管渠はまだ数十年後先であり、比較的新しいため定期点検等により更新が必要な管渠は特に見当たらない。

しかし、処理場機械電気設備及びマンホールポンプについては、水処理の過程において一部不具合が生じており、更新時期が迫ってきている。

今後は、耐用年数を超え老朽化していく施設が増加すると予想されるため、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検、適正な維持管理運営が必要である。

全体総括

一部供用開始から12年ほどであり建設事業継続中であるため、総収益が少なく地方債及び他会計入金の依存度がさらに高くなることが予想される。

今後は、下水道への加入促進による接続率の向上、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検、適正な維持管理運営により、平均値に近づけていけるよう努めることが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。